

## 「地方公共団体における地球温暖化対策の計画的な推進のための手引き」の概要について

本計画は、平成 26 年 2 月に環境省が地方公共団体に示した「地方公共団体における地球温暖化対策の計画的な推進のための手引き」に基づいたものとなっています。

### 1. 計画の位置付け

- 一定規模以上の自治体（県、政令市・中核市・特例市）は地域における施策に関する事項として、
  - ①自然エネルギー導入の促進、②地域の事業者・住民による省エネその他排出抑制の推進、③公共交通機関・緑地その他の地域環境の整備・改善等、④循環型社会の形成を定める。
- 策定にあつては、自治体の総合計画や都市マスタープラン、農業振興地域整備計画、一般廃棄物処理基本計画等との内容整合・連携するよう配慮が必要。

### 2. 目標の設定について

- 目標の期間
  - ・短期：2020 年、中期：2030 年、長期：2050 年とすることを推奨
- 目標の種類
  - ・総量目標（温室効果ガス排出量や吸収量）、または総量目標に替えて最終エネルギー消費量の削減量や部門・分野別目標、原単位目標などを設定することが可能（計画の進捗管理が可能かどうかも含めて検討）

### 3. 二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）やエネルギー消費量の計算について

- 自治体の規模ごとに推奨する具体的な計算方法を提示
    - ・エネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量（t-CO<sub>2</sub>）
      - エネルギー種別ごとに算定した部門別（家庭や業務など）CO<sub>2</sub> 排出量を集計して総量を推計
- $$\boxed{\text{CO}_2 \text{ 排出量} = \text{活動量} \times \text{エネルギー消費原単位} \times \text{炭素集約度}}$$
- 活 動 量 …人口や世帯数、従業者数、製造品出荷額、生産額、自動車保有台数などそれぞれの活動規模を示す
- エネルギー消費原単位…1 世帯あたり、自動車 1 台あたりなど活動量の単位あたりが使用するエネルギーの量を示す
- 炭 素 集 約 度 …エネルギーの種別ごとに一定量使うと二酸化炭素がどれだけ排出されるかを示す係数

・最終エネルギー消費量（単位：kl）

部門別に算定したエネルギー種別最終エネルギー消費量を集計して原油換算した総量を推計

$$\text{最終エネルギー消費量} = \text{活動量} \times \text{エネルギー消費原単位} \times \text{熱量換算係数} \times \text{原油換算係数}$$

熱量換算係数 … エネルギー種別ごとに一定量使うと熱量がどれだけ発生するかを示す係数

原油換算係数 … 熱量を原油量へ変換するための係数

0.0258kl（キロリットル）／GJ（ギガジュール：熱量の単位）

#### 4. 記載事項について

「1. 計画の位置付け」で示した義務的記載事項（①～④）のほか、⑤避けがたい温暖化の影響への適応策についてもあげています。

- ① 自然エネルギー導入の促進
- ② 地域の事業者・住民による省エネその他排出抑制の推進
- ③ 公共交通機関・緑地その他の地域環境の整備・改善等
- ④ 循環型社会の形成
- ⑤ 地球温暖化への適応策